

名情研だより

自ら学び、自ら考える

第24号

名古屋市情報教育研究会
平成26年7月

名古屋市情報教育研究会
会長 渡邊 務 (平針小)



私たち教師の仕事は本当にいろいろありますね。教育基本法第一条には「教育は人格の形成を目指し…」とあります。その人格の形成においては、確かな学力、豊かな心、健康な体、知・徳・体のバランスのとれた成長が必要です。情報教育はその中でどのような部分を担っているのでしょうか。

情報教育は「機器に頼って…、新しい機器にすぐ飛びついて…」と誤解されがちです。各地で開催される情報教育研究大会では、電子黒板からタブレットへの関心が高まっています。しかし、必要なのは機器ではありません。

大切なのは「確かな学力」「豊かな心」、そして、そこへ繋ぐ学習意欲をどう高め、どう課題を持たせ、どう解決させるか。そこに情報活用能力をどう絡ませるかということだと思います。昨年私は「心に響き、心に伝わる情報教育を目指して」と、この場で書かせていただきました。どのように料理するかは、教師の教材研究にかかっています。課題をどう提示し把握させるか、発問をどうするか、板書をどうするか、深める場面や話し合いの場はどうするのか、どこに繋げるのか、これはどの教科等でも共通するものです。そこに「情報教育的な手法」を効果的に散りばめるか、これが求められる教師力ではないでしょうか。

私は研究主題「自ら学び、自ら考え、たくましく生きる力」を育てるには、情報教育は大切な役割を負っていると信じています。さあ、研究の1年目が始まります。基礎基本をおろそかにせず、高い目標を掲げ、互いに切磋琢磨しながら研究を進めましょう。

こんな活用方法があります！①デジカメを使った「よいところ見つけ」

- ※撮影のルール(肖像権など)は、あらかじめ教師から話しておきます。
 - ①日直がデジタルカメラを持って、学級のすてきだなと感じた場面を撮影します。
 - ②画像の中から1枚を選択し、発表原稿を作成します。
 - ③デジタルカメラをテレビにつなぎ、帰りの会で画像を見せながら発表します。
 - ④教師が、画像を印刷して原稿に貼り付け、右図の様に掲示していきます。
- 話し合いで月間MVPを決めたり、記録写真として活用したりするのもいいですね。



実践紹介コーナー

こちらでは、研究会に所属している先生方の実践を紹介していきたいと思います。ご紹介できるのは、ほんの一部ですが、ぜひ授業の参考にしてください。

実践1(宝小 山内先生)

小5 国語「新聞を読む」
複数の新聞記事を読み比べて、様々な視点から新聞記事が書かれていることの意味やその効果を知らせました。



また、見出しやリード文から要旨をとらえることができるようにしました。

実践2(徳重小 丸山先生)

特別支援 国語「思い出スライドを作ろう」
撮影した画像に対して「いつ」「どこで」などの視点別に色分けしてキーワードを書き入れたり、画像に丸を付けながら発表したりして、気持ちを伝えることができるようにしました。



…さらに詳しい情報は名情研WEBページ内「研究集録 WEB版」をご覧ください。

研修のご紹介

夏休み、今からでも参加できる研修があります！

今年度も教育センターで行われているコンピュータ研修。名情研のメンバーが講師をしています。

今年度のコンピュータ研修は締め切られていますが、他にもおすすめの研修会があります。



- 【学習工学セミナー】8月19日 名古屋情報メディア専門学校にて
・ワークショップと講演
- 【NHK放送特別研究会】8月22日 ウィンクあいちにて
・講演・NHK for Schoolの紹介など
- 【名情研全体研修会】8月26日 千種区東星中学校にて
・教研等で使うプレゼンを作成
…詳しくは名情研WEBページで。

平成26年度 名古屋市情報教育研究会 研究主題
「自ら考え、自ら学び、たくましく生きる力を育む情報教育」
- ICTの効果的な活用と、情報活用能力を育む授業を目指して-

情報活用能力研究部
共に学ぶ活動を通して情報活用能力を育成する学習の探究

ICT活用研究部
教科指導において、ICTを効果的に活用した指導法の探究

名情研WEBページのご案内

「名情研ってどんな活動をしているの？」
「パソコンや機器をうまく生かしたい」
「授業のアイデアがほしい！」
詳しくはWEBページで
<http://www.meijoken.com/>

名情研

検索

